



スクミリンゴガイ防除剤

メタアルデヒド 10%

農林水産省登録
第22153号

スクミリンゴ

- ★スクミリンゴガイに対して食毒で作用し、効果を発揮します。
- ★処理直後から誘引性を示し、摂食して即効的な作用を示します。
- ★人畜に対する安全性が高く、魚介類に対しても影響が少ない製剤です。

ジ ヤ ン ボ タ ニ シ

スクミリンゴガイ防除に 頼れる一発!



スクミリンゴガイ成貝
(俗称:ジャンボタニシ)



被害田

®はサンケイ化学(株)の登録商標です

サンケイ化学株式会社

スクミリンゴガイ防除剤

スクミノン[®]



登録番号：農林水産省登録 第22153号
 有効成分・含有量：メタアルデヒド 10.0%
 剤 型：淡褐色粒状（ベイト剤）
 人畜毒性：普通物、魚毒性：A類相当（原体）
 包 装：2kg袋×8

■適用病害虫名及び使用方法

2008年4月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	10a当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	メタアルデヒドを含む 農業の総使用回数
稲	スクミリンゴガイ	2~4kg	移植後 但し、収穫90日前まで	2回以内	散布	2回以内
		4kg	は種後 但し、収穫90日前まで			

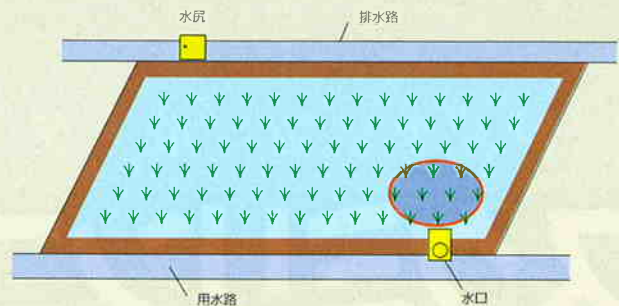
■特徴・作用機作

- 主に食毒で作用し、スクミリンゴガイに対し急速な麻痺を引き起こします。摂食したスクミリンゴガイは、死亡するか、異常行動を示すようになり、水稻を食害しません。
- スクミリンゴガイに対する誘引性を持っており、処理直後に誘引効果を示します。摂食したスクミリンゴガイに対し、極めて即効的な作用を示します。
- 人畜に対する安全性は高く、普通物です。有効成分の溶出を極力抑えるように製剤化されており、魚介類に対して影響が少ない(A類相当)薬剤です。

■上手な使い方（移植栽培の例）

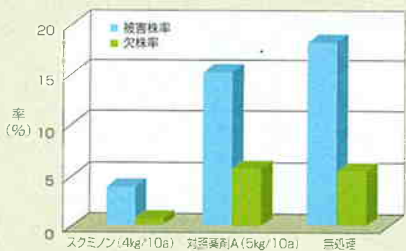
スクミリンゴガイは稲苗の柔らかい時期に加害を起こすので、移植栽培の場合は移植直後～約2週間後（地域によって異なります）、直播栽培の場合は播種後～約1か月の防除が重要となります。

スクミノンを使用する場合は全面均一散布が基本ですが、水口周辺や深水になる場所は被害が多い傾向にありますので、それらの場所には所定の範囲内で多めに散布することをおすすめします。



■試験成績

移植栽培での試験事例



スクミリンゴガイに対するスクミノン処理による被害率及び欠株率

熊本県農業研究センター
 (平成9年 移植水稻)
 試験場所: 熊本県農業研究センター
 農産園芸研究所内農場
 供試作物: 水稻(ユメヒカリ)、
 は種(5月16日)、
 移植(6月23日)
 処理月日: 6月23日(移植直後)

直播栽培での試験事例



スクミリンゴガイに対するスクミノン処理による健苗数

佐賀県農業試験研究センター
 (平成10年 湛水直播水稻)
 試験場所: 佐賀県農業試験研究
 センター内農場
 供試作物: 水稻(ヒノヒカリ)
 湛水直播栽培
 は種(6月11日)
 処理月日: 6月12日(は種直後)

使用上の注意事項

- は種または移植後、スクミリンゴガイを確認したら直ちに散布してください。
- 本剤は湛水状態（3～5cm）で均一に散布し、散布後7日間は湛水状態にして、落水やかけ流しをしないでください。
- 水田以外には絶対に使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に、初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は、農業用マスクなどを着用してください。使用後は、うがいをしてください。
- 犬、猫などのペット類や家畜、家禽等が多量に食べると死亡する恐れがあるので、食べる可能性のある場所での保管及び使用はしないでください。

- ★使用前にラベルをよく読んでください。
- ★ラベルの記載以外には使用しないでください。

- ★使用後の空袋は圃場や用水路などに放置せず、適切に処理してください。
- ★本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



JAグループ

農協

全農

経済連

全農は登録商標 第4702318号



サンケイ化学株式会社

本社 鹿児島市南栄2丁目9 ☎099-268-7588
 九州北部営業所 佐賀県鳥栖市曾根崎町1154-3 ☎0942-81-3808
 宮崎事務所 宮崎市神宮東3丁目6-19 ☎0985-25-7051